

【2】子どもの遊び場・子どもの移手段など

(2-1) 子どもがよく遊ぶ場所 (C群：一般保護者・C'群：心身ハンディ児の保護者等への質問)

質問

お子さんがよく遊ぶところはどこですか。(3～4個までを)

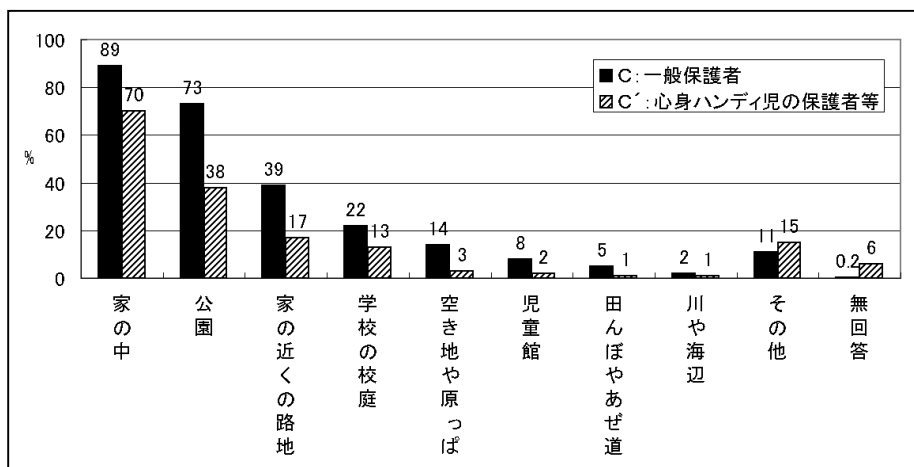
- 1:自分や友達の家の中 2:家の近くの路地 3:空き地や原っぱ 4:公園 5:児童館
6:学校の校庭 7:田んぼやあぜ道 8:川や海辺 9:その他

... 子どもの戸外遊び場は公園が多い ...

子どもがよく遊ぶ場所を4つ以内選択する設問では、一般保護者の回答では、家の中が最も多く、戸外遊び場としては公園が多い。その次は家の近くの路地であ

った。心身ハンディ児の保護者等の回答では公園の選択率が一般保護者より低かった。かつて子どもがよく遊んだ空き地や原っぱ、川などは少ない。

(図2-1)「子どもがよく遊ぶ場所」(C群：一般保護者・C'群：心身ハンディ児の保護者等の回答)
回答は複数選択式。数字は選択した人の割合。



その他の遊び場としては、一般保護者の回答では園庭、集合住宅の敷地内、自宅の庭、駐車場などが、心身ハンディ児では福祉会館やプールなどの施設が複数挙がっている。

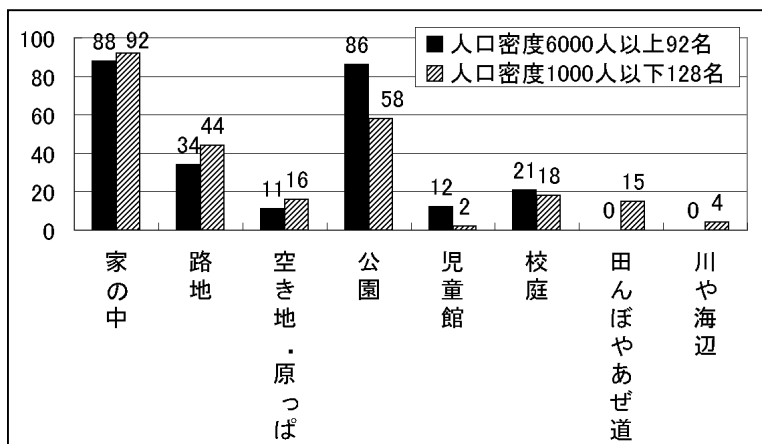
(2-1-補) 居住地の人口密度別に見る「子どもがよく遊ぶ場所」(C群：一般保護者への質問より)

... 都市部では、戸外遊び場の選択肢が少ない ...

一般保護者の回答のうち人口密度が 6000 人 / km² 以上の都市の居住者と 1000 人 / km² 以下の地方の居住者の回答を比較したところ、後者のほうが戸外遊び

場の選択の幅が広い傾向にあった。人口密度の高い都市部は、公園が戸外遊び場の中心であり、遊べる路地も多くないようだ。

(図2-1 補) 居住地の人口密度別に見る「子どもがよく遊ぶ場所」(C群：一般保護者の回答より)



人口密度 6000 人 / km² 以上の都市：
東京都内・大阪市・市川市・横浜市・名古屋市・草加市・尼崎市など
人口密度 1000 人 / km² 以下の地方：
高知県香美郡・つくば市・山形市・鳥取県気高郡・鳥取市・三重県安芸郡・松阪市など

(2 - 2) 小学生らがよく遊ぶ場所 (D 群 : 小学生・ D ' 群 : 心身ハンディ児への質問)

質問 どこでよく遊びますか。(3 つか 4 つまで を)
 1:自分や友だちの家の中 2:自分や友だちの家のまわり(道など) 3:公園 4:学校の校庭
 5:児童館 6:学童クラブの中 7:あき地や原っぱ 8:田んぼやあぜ道 9:山 10:川や海 11:その他

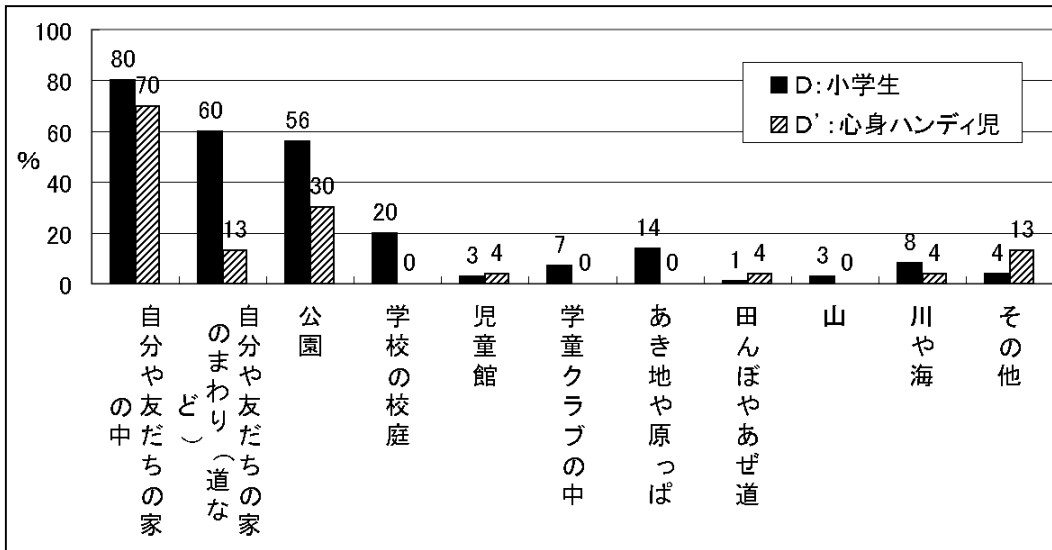
... 小学生は家周辺や公園でよく遊ぶ ...

小学生の回答(4 個まで選択)では、家の中が 8 割で、家のまわりが 6 割、公園も 6 割近くあった。家の中が最も多く、田んぼや山や川などの自然空間が少ないのは、保護者の回答と同様である(注:左の回答群

の子どもとこちらの小学生とは無関連で、地域構成も異なる)。

心身ハンディ児では、家の中に次いで公園が多いが、家のまわりは少ない。

(図 2 - 2) 小学生らのよく遊ぶ場所 (D 群・ D ' 群の回答)
 回答は複数選択式。数字は選択した人の割合



「その他」の遊び場としては、小学生では 17 件あり、「まち」(2 名)「地域センター」「神社」「長崎屋」「教会」など。「家を建てる前の空き地」「前は田んぼやあぜ道があってそこで遊んでいた」「遊ぶ気がしない」という回答もあった。
 * 心身ハンディ児は「ほとんど家の中」「教会」「川の土手を散歩」の 3 件だった。

(2 3) 戸外遊び場の家からの距離 (C 群 : 一般保護者・ C ' 群 : 心身ハンディ児の保護者等への質問)

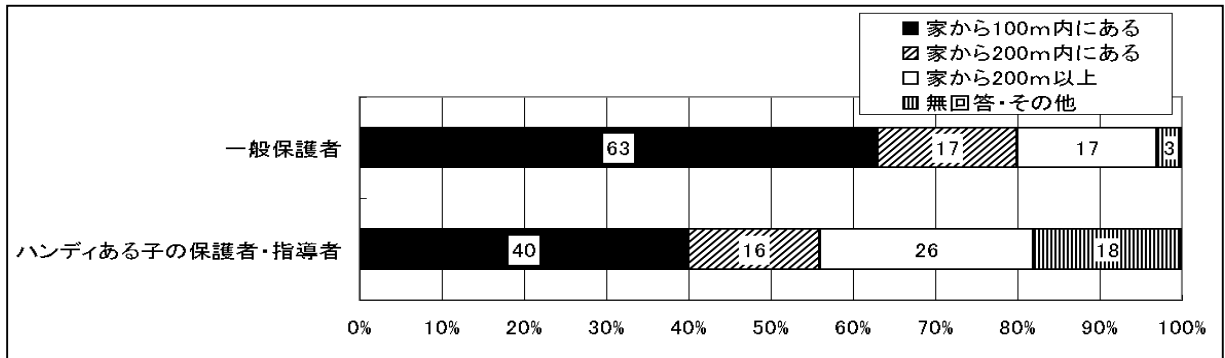
質問 お子さんが自由に遊べる戸外の空間 (路地、空き地を含む) は家のそばにありますか。
 1:家から 100m 内にある 2:家から 200m 内にある 3:それ以上のところにある

... 3 割以上は、家から 100 m 以内に遊び場がない ...

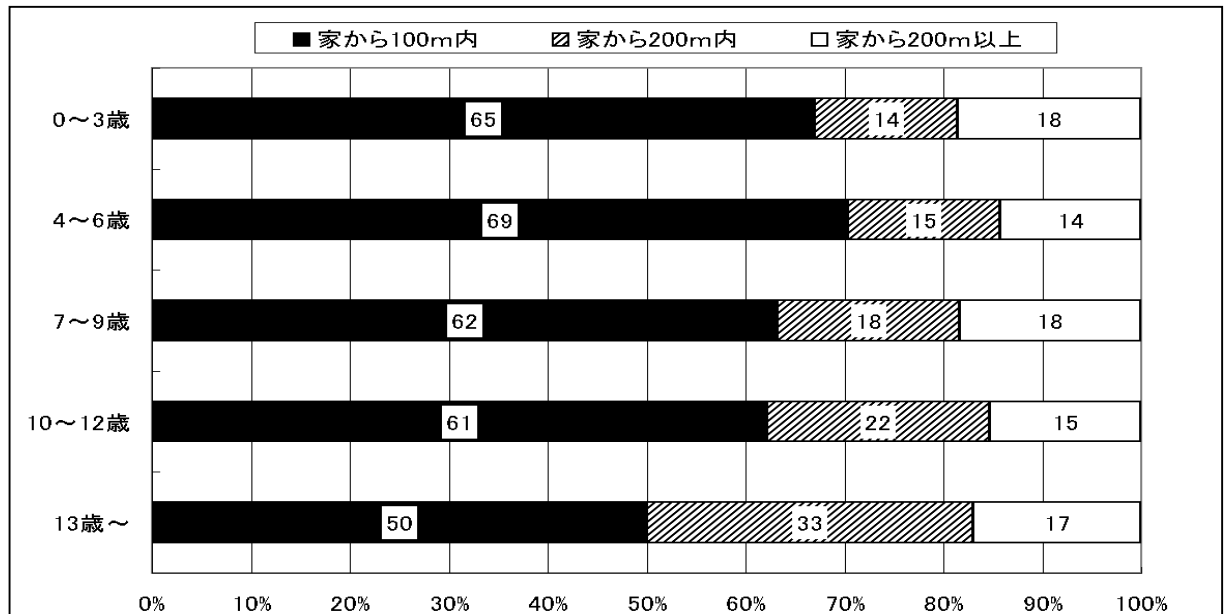
子どもの戸外の遊び場は、一般保護者の回答では家から 100m 以内が 6 割だった。子どもの年齢層別に遊び場までの距離 (図 2 - 3 - B) とよく遊ぶ場所 (表 2 - 3) を見ると、子どもの年齢が低いほど家の近くで遊んでいることがわかる。

とはいえ、0 ~ 6 歳児の 3 割以上は、遊び場が家から 100m 以上離れている (公園が多いと思われる)。家の周辺に適当な遊び空間がないと、家の中で遊ばせる時間が増えてしまうことはないだろうか。

(図 2 - 3 - A) 子どもが自由に遊べる戸外遊び場までの家からの距離 (C 群・ C ' 群の回答)



(図 2 - 3 - B) 子どもの年齢層別に見る、家から戸外遊び場までの距離 (C 群 : 一般保護者の回答より)



(表 2 - 3) 子ども年齢層別に見る「よく遊ぶ場所」

| | 自分や友達の 家の中 | 公園 | 家の近くの 路地 | 校庭 | 空き地や 原っぱ | 児童館 | 田んぼや あぜ道 | 川や海 辺 | その他 |
|-----------|---------------|----|-------------|----|-------------|-----|-------------|----------|-----|
| 0 ~ 3 歳 | 90 | 76 | 41 | 11 | 12 | 10 | 6 | 1 | 13 |
| 4 ~ 6 歳 | 91 | 76 | 45 | 19 | 14 | 7 | 5 | 1 | 10 |
| 7 ~ 9 歳 | 90 | 67 | 45 | 31 | 19 | 10 | 5 | 1 | 10 |
| 10 ~ 12 歳 | 88 | 70 | 35 | 41 | 14 | 9 | 4 | 2 | 9 |
| 13 歳 ~ | 92 | 75 | 28 | 39 | 17 | 8 | 3 | 3 | 8 |

数値は各年齢層該当者のうちの割合 (%)

質問

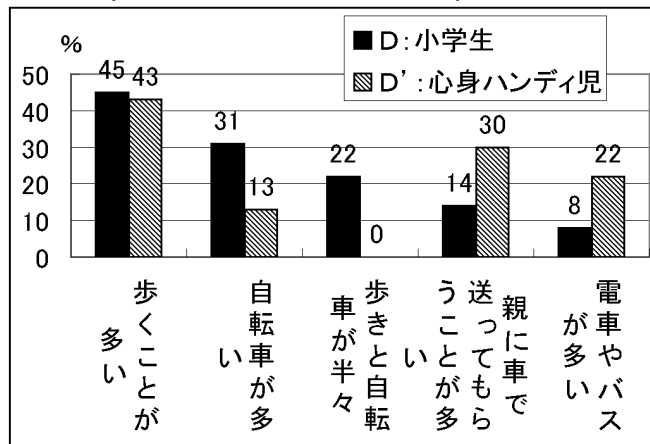
友達の家や外に遊びに行くときや、塾や習い事に行くときは、どうやって行きますか。
 (あてはまるものを)
 1:歩くことが多い 2:自転車が多い 3:歩きと自転車と半々
 4:親に車で送ってもらうことが多い 5:電車やバスが多い
 実際のアンケートでは平仮名を多くし漢字にはルビを振った。以下同じ。

... 子どもたちの移動手段は歩きと自転車が中心 ...

小学生の外出時の移動手段 (複数に丸をつけた子もいるため、回答数は 1.2 倍となった) は、「自転車が多い」と「歩きと自転車が半々」を合わせると半数を超

え、自転車がかなり使われていることがわかる。学年別に見ると、やはり高学年ほど自転車利用が多くなっている。

(図 2 - 4 - A) 小学生らの外出時の移動手段 (D群・D'群の回答)



(図 2 - 4 - B) 学年別移動手段 (D群：小学生の回答より)

